

2026 年度 第 1 回理事会議事録

日 時：令和 8 年（2026 年）7 月 4 日（土）午後 2 時 35 分～午後 4 時 20 分

場 所：ビジョンセンター品川 2 階 205 室

（東京都港区高輪 4 丁目 10-8 京急第 7 ビル）

出席者：小畠 隆行，内田 幸司，江田哲男，菊地 克彦，熊代 正行，寺田理希，土井 司，
沼野 智一，秦 博文，山崎 良 [10 人]

リモート出席：高橋 順士，丸山 克也，吉丸大輔，錦 成郎（監事）[4 人]

委任：鈴木 雄一，高橋光幸 [2 人]

審議事項

1. 2026 年度理事の業務分担

業 務	委員長	委員	委員	委員
総務・渉外	土井 司	菊地 克彦		
庶務・ホームページ管理	山崎 良	内田 幸司		
試験作成・合格審査	内田 幸司	沼野 智一	吉丸 大輔	高橋 順士
試験作成監査	寺田 理希	熊代 正行		
性能評価書類審査	鈴木 雄一	菊地 克彦	江田 哲男	寺田 理希
更新書類審査	江田 哲男	菊地 克彦	山崎 良	内田 幸司
認定試験会場運営	菊地 克彦	沼野 智一	土井 司	内田 幸司
MRI 医療安全	高橋 光幸	秦 博文	丸山 克也	
MRE 撮像技術	沼野 智一	秦 博文		
ホームページ管理	山崎 良	鈴木 雄一		
会計・経理	内田 幸司	山崎 良		

2. 2026 年度理事会開催予定

第 1 回理事会 2026 年 7 月 4 日（土） 2026 年度事業計画

第 2 回理事会 2026 年 9 月中旬（web） 第 22 回認定試験準備確認、受験者の承認

第 3 回理事会 2026 年 11 月下旬（web） 第 22 回認定試験合格者の承認、安全講習会

第 4 回理事会 2027 年 3 月中旬 2026 年度更新者の承認、次年度計画の立案

3. 第 22 回磁気共鳴専門技術者認定試験

(1) 開催期日 2026 年 11 月 1 日（日）12:40～15:40

(2) 試験会場 東京）東京都立大学荒川キャンパス（東京都荒川区東尾久 7-2-10）

大阪）難波御堂筋ホール ホール 6（大阪市中央区難波 4 丁目 2-1）

(3) 定数 各会場 200 人 都立大収容人数を超えると調整する

- (4) 受験申請資格
- 1) 第 22 回認定試験に申請し、書類審査に合格し受験資格を得た方
 - 2) 第 21 回までの書類審査に合格し、安全管理講習を終えた方。
 - 3) 試験当日に発熱もしくは倦怠感など体調不良でない方
- (5) 試験プログラム 13:20～14:20 (1) 基礎物理, 撮影技術, 応用技術, 読影技術など
14:40～15:40 (2) 保守管理, 安全性, アーチファクト, 解剖など
安全管理講習 事前に e-learning による受講
- (6) 受験申請 2026 年 8 月 1 日 (土) ～ 31 (月)
- (7) 試験実施最終判断 2026 年 10 月 26 日 (月)
- (8) 運営スケジュール 書類審査 2026 年 8 月 19 日～9 月 10 日
受験資格者通知 9 月 25 日頃 第 2 回理事会後
認定者承認 11 月下旬 第 3 回理事会
認定証の送付 12 月下旬
- (9) 第 22 回認定試験合格者の認定期間 2027 年 1 月～2032 年 3 月までの 5 年 3 カ月
- (10) 試験実施にあたっての感染対策などは、状況を鑑みて適宜 HP で案内する。
- (11) 試験前の注意に不正防止を促す。
マスクの着用は強要しない。

4. 第 22 回磁気共鳴専門技術者認定試験作成委員会

- (1) 認定試験作成委員構成 メンバーが 3 人入れ替わった。

委員長	内田幸司	益田地域医療センター医師会病院		
副委員長	小林智哉	東北大学		
委員	小島隆行	量子科学技術研究開発機構	竹森大智	大阪公立大学医学部附属病院
	石坂欣也	北海道大学病院	垂脇博之	大阪大学医学部附属病院
	上山 毅	東京大学医学部附属病院	沼野智一	東京都立大学
	金沢 勉	新潟大学医歯学総合病院	長谷川晋也	済生会習志野病院
	木藤善浩	信州大学医学部附属病院	秦 博文	北里大学病院
	鈴木 真	久留米大学病院	丸山克也	シーメンスヘルスケア
	高橋順士	虎の門病院	山崎 良	天理よろづ相談所病院
監査委員	熊代正行	岡山県診療放射線技師会	寺田理希	磐田市立総合病院

- (2) 会議日程

第 1 回委員会 7 月 12 日 第 1 回監査委員会 7 月中旬
 第 2 回委員会 8 月 16 日 第 2 回監査委員会 8 月下旬
 試験問題校了 2026 年 9 月末
 第 22 回磁気共鳴専門技術者認定試験 合格者判定会議 11 月中旬
 (不適切問題がなかったかの確認)

5. 第2回・第7回・第12回・第17回試験認定者の更新

- (1) 対象 第2回認定試験認定者 LSMR0036 ～ 0074 (4回目)
第7回認定試験認定者 LSMR0325 ～ 0407 (3回目)
第12回認定試験認定者 LSMR0839 ～ 0926 (2回目)
第17回認定試験認定者 LSMR1321 ～ 1436 (初回)
- (2) 更新申請 2026年2月1日(月)～20日(土)
- (3) 更新審査 2026年2月15日(月)～3月5日(金)
- (4) 更新承認 第4回理事会

6. 第17回MR専門技術者更新のためのMR医療安全管理セミナー

- (1) 開催期日 11月29日(日)13:00～17:00
／11月30日(月)確認テスト(その日も含めて)
- (2) 開催場所 大阪市内(未定)
- (3) 開催方法 機構のzoomを使ったハイブリッド方式
- (4) 対象 磁気共鳴専門技術者および希望者
- (5) 受講費 無料 ただし更新のための受講者以外は1000円
- (6) 司会・進行 高橋光幸, 秦 博文, 石川応樹
- (7) プログラム案 講義35分 質疑応答10分
 - 1) 13:00～13:45 MRI医療安全【総論】 高清水 高井病院 土井 司
 - 2) 13:45～14:30 MRI医療安全【問診を考える】
泉大津急性期メディカルセンター 谷 光太郎
 - 3) 14:30～15:15 磁性体持込み/体外装着品【貼付薬と化粧を含む】の安全対応
国立循環器病センター 岡田 敦彦
 - 4) 15:30～16:15 体内装着品【添付文章含む】の安全対応
神戸市立医療センター西市民病院 名定 良祐
 - 5) 16:15～17:00 心臓植え込み型電氣的デバイス(CIEDs)の対応と今後の動向
東海大学情報工学部 黒田 輝
- (8) 参加広報 大阪府診療放射線技師会にもセミナーの開催を案内する

7. 第5回一般向けMRI安全セミナー「すべてのMRI装置が安全に運用されるために」

- (1) 開催期日 2026年9月14日(月)18:00～19:30
- (2) 開催方法 機構のzoomを使ったWeb開催
- (3) 対象 磁気共鳴専門技術者を除く医療従事者およびMRI従事者
- (4) 受講費 無料
- (5) プログラム案 司会・進行: 秦 博文, 高橋光幸
 - 1) 18:00～18:20 MRI検査を安全に実施するために考えること 北里大学病院 秦 博文
 - 2) 18:20～19:30 安全運用・安全啓発促進のための質疑応答 高井病院 土井 司

越谷誠和病院 石川 応樹
つくば国際大学 坂井 上之
北里大学病院 小見正太郎
昭和医科大学病院 本寺 哲一
さやま総合クリニック 諸田 智章

- (6) 広報 新医療とインナービジョンに広告を打診する
医療の質・安全学会にメールでの広報を依頼する

8. 第7回 肝MRエラストグラフィ撮像技術講習会

- (1) 開催期日 2026年8月22日(土) 9:45~16:15
(2) 開催場所 東京都立大学荒川キャンパス
(3) 受講費 5000円 実習を伴うので対面受講のみ
(4) 募集人数 16人 *先着順や各施設2名まで可としている
(5) 募集開始 2026年6月15日(月)~22日で締切り
すでに定員に達しており募集を8日間で停止した。
(6) 今年も年1回とする

9. 第32回日本医学会総会2027への出展

- (1) テーマ 「医学のレジリエンス ~未来への挑戦と貢献~」
(2) 会期・会場 市民展示 2027年3月20日(土)~28日(日) 大阪市北区うめきたエリア
「いのち健康みらい博2027~いのち輝く、その先へ~」
(3) 日本磁気共鳴医学会との共催で日本磁気共鳴専門技術者認定機構が参画する
ブースの大きさ: 8m² 企画についてはJSMRMの担当者と調整する。
展示内容案 市民が対象であることを念頭に展示企画を考える
(4) 会期中の対応
関西のメンバーを中心に対応を考える
会場は大阪の中心部なので休日は来場者が多いことが予測される
(5) 経費 日本医学会への出展費: 1,000,000円 展示品作成準備費: 500,000円
委員会および出張費: 400,000円 運営予備費: 100,000円 を計上する

10. 2026年度予算案

- (1) 収入計画 5,810,000円
(認定試験 3,390,000円 更新料 2,500,000 安全セミナー120,000円)
(2) 支出計画 8,850,000円
(会議費 500,000円 認定試験関係 2,860,000円 セミナー開催費 1,300,000円
安全啓発活動 2,000,000円 管理費 1,700,000円 運営管理費 490,000円)
(3) 当期収支差額 △3,040,000円
項目ごとの運営予備費の合算で550,000円を計上している。

11. その他、運営に関わる事項

- (1) Chatpot の購入（事後報告）
- (2) 認定試験問題の二次利用（事後報告） 利用許可願いのホームページにおく
第 54 回 JSMRM 学術大会企画
「オンプレミス AI システムを使ったフィルムリーディング企画」
⇒ 「ホームページに公開している」「正答を開示していない」との理由で許可した
※ 利用は学術利用に限る。商用利用の場合は許可しない。
- (3) 研究会などの認定と参加ポイントの付与について
 - 1) 技師会と技術学会の合同学術大会
 - ・技術学会との合同であれば、都道府県単位であっても合同と認める。
 - 2) 発表：症例報告の取扱い
 - ・審査を通過しているとして、機構としては学術研究発表と同等の扱いとする。
 - 3) 日本手術支援画像技術学会からの研究会への申請
 - ・学術大会に MRI に関わる演題の占める割合を報告してもらう。
 - ・演題中約 50%を占めていれば研究会（5P）として求める。
- (4) 管理者ページのセキュリティ設定
管理者に 2 要素認証機能、アカウントロック機能の追加
必要に応じてシステム運用者などに管理者権限を与える
- (5) 認定試験時の不正行為対策（試験前の案内時に通知する）
本年度の認定試験から対応策を実施する。
- (6) 第 2 回理事会の開催
9 月下旬に web 開催とする（事前に期日調整をする）
議題 第 22 回磁気共鳴専門技術者認定試験の準備状況
第 22 回磁気共鳴専門技術者認定試験の受験有資格者の承認
第 17 回 MR 医療安全管理セミナーの準備状況
第 32 回日本医学会総会 市民展示の準備状況
報告事項 第 22 回磁気共鳴専門技術者認定試験作成委員会 開催報告
第 7 回 肝 MR エラストグラフィ撮像技術講習会 開催報告
第 5 回一般向け MRI 安全セミナー 開催報告

以上